

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
Kasagi@eolas-net.ne.jp



皆さま、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年も高校野球の熱戦に心躍るものがありました。有珠山噴火で被災した虻田高校・工藤義仁主将の始球式姿に感動し、テレビに向かって声援を送りました。一日も早い復興を祈るばかりです。

7月下旬の「瞬間的な強風・雷雨」には驚かされました。我が家の自転車小屋も隣の庭まで吹き飛ばされました。農家のハウスなどにも相当の被害がでました。行政支援が望まれます。

市内の建設業会に対し、国や道、市の指名停止が続いています。下請け企業などへも影響がでることは必至で、厳しい経済状況にあるだけに大変心配されます。

「ふるさと旭川・2000年」事業が終わりました。あの熱気をそのまま持続し、今こそ景気の回復にみんなで向かう時です。

佐々木秀典さん。当選おめでとう

6月の衆議院選挙で佐々木秀典さんが4選を果たしました。接戦の選挙戦でしたが、私も自分なりに精一杯の取り組みをさせていただきました。応援くださった皆さん、本当にありがとうございました。

政治不信が続く中で、日本の新しい政治を佐々木秀典さんには是非、創ってもらいたいものです。

公園に街灯がつけました

東旭川北2条5丁目の「ひまわり公園」に街灯がつけました。

7月30日に東旭川駅前通西町内会（池内孝夫会長）の花火大会があり、近くに住む皆さんから、「明るい公園」を喜んでいただきました。



ユジノサハリンスク市民と交流

7月15日～16日の両日、友好都市のユジノサハリンスク公式訪問団が来旭しました。

私も平成7年に公式訪問団の一員としてユジノ市を訪ねたことがあり、当時の友人3人も今回来旭し、久しぶりに再開できました。楽しいひと時でした。



農業まつり



8月6日、東旭川農業まつりにご案内をうけ、顔をだしました。

当日は天気もよく、大賑わい。

とりたての野菜や花卉、お肉などが格安とあって、私も持ち切れないほど買い物をしました。

ご馳走になった焼肉も格別。帰りには4種類の薬草をいただき早速、家の横に植えてみました。

「笠木かおる夏の夕べ」のご案内

笠木かおる連合後援会（荻野慶博会長）の主催で下記により「笠木かおる・夏の夕べ」を開催していただくことになりました。

是非、お誘いあわせでご来場をお待ち申し上げます。

☆とき 8月25日（金）午後6時30分

☆ところ 旭正農協豊岡支所 3F大ホール
（豊岡4条1丁目）

☆会費 2,000円

千代田地区ふれあいまつり

千代田地区市民委員会（森田武会長）のふれあいまつりが8月6日、第3小グラウンドで行なわれました。

「踊らにゃ損損」と思い、豊岡東部中央町内会の皆さんと一緒に私も、ピエロに仮装して踊りました。

千代田地区市民委員会の森田会長は昭和3年生まれの72歳。

趣味の一つに「オートバイ」があり先日、びっくりするような豪華なオートバイに乗せてもらいました。

いつも愉快で楽しい会長さんです。



北海道療育園の「彫刻の森」づくり

北海道療育園（旭川市春光台4-9）が今年から8年計画で「彫刻の森」構想をすすめています。

施設周辺の恵まれた空間を活かし、彫刻8体を設置する計画で、そのうちの1体に彫刻家・佐藤忠良の作品も含めたいとのこと、非常に楽しみです。

先日、荻野慶博後援会長とぶらっと、骨董屋「家どん・船どん」（市内1-13）に立ち寄り佐藤忠良のレリーフを手に入れました。中野正一店主とは古くからのおつき合いです。余りにも安くしてくれたので荻野会長は「よかったね、よかったね」の連発でした。

後援会幹事を担っていただいている中川希一さん（東旭川1-5）の母、中川トメさんは93歳で、今もなお元気に油絵を描き続けています。先日、その作品をプレゼントしていただきました。



旭川地区サッカー協会ビールパーティー

7月19日、サッカー協会のビールパーティーに参加しました。サッカー仲間が集い、サッカー談義に花を咲かせました。

第2定例会 報告



旭川市議会の第2定例会は6月29日から7月7日まで、9日間の日程で開かれました。

私は一般質問にたち、①旭川経済の再生と行政の役目について②政策評価システムの展開について③環境行政について—の3点をとりあげ、山積する課題に対する旭川市の前向きな答弁を引き出しました。

以下、その要旨を報告します。

旭川経済の再生と行政の役目 (要旨)

- (笠木) 過去3年間、企業誘致が一つもないが、今後の企業誘致運動の考え方は。
- (答弁) 企業進出を促進するための新たな助成制度を検討する。
- (笠木) 開業率の倍増計画をもち、思い切った開業支援の助成制度を検討すべきでないか。
- (答弁) 地域ニーズを的確にとらえ、現在進めている事業の拡充や新たな施策展開を行なう。
- (笠木) 地元家具の発注は、全事業者に行き渡る工夫を。
- (答弁) より多くの事業者が参入できるよう配慮する。
- (笠木) 旭川商工信組への、市の考え方は。
- (答弁) 可能な限り支援策を検討していく。

【解説】

行政がなぜ経済対策を行なうのか？。それは行きつくところ、市民の雇用を確保するためということです。

過去4年間の旭川市内の開業件数、廃業件数を調べてみると、開業数は2,141事業所、廃業数は3,283事業所で、差し引きで4年間に1,142事業所が少なくなっています。旭川市内の1事業所の雇用数は平均で8.7人といわれていますから、単純計算で約10,000人の雇用減です。そのことが今の失業状態の大きな原因です。

そう考えると、既存の中小零細企業の支援だけでは雇用の回復は難しく、企業誘致や開業支援の積極的な経済対策も重要です。

旭川商工信組は、市内1,900社の中小・零細企業と取り引きをする大切な金融機関です。経営改善計画の達成に期待がかかっています。

政策評価システムの展開 (要旨)

- (笠木) 政策評価の対象となる具体的な事業は。
- (答弁) 現在実施中の事務事業から着手していきたい。
- (笠木) 導入の時期は。
- (答弁) 今年度中に試行的に実施し、来年度以降、本格的に導入する。

【解説】

政策や事業を常に見直し、新たな行政課題を再発見する「政策評価システム」の導入が急がれます。

いま市民は、地方自治体の厳しい財政状況を知っており、「あれもこれも」と行政に何もかにも要望し、後世に負担を残すよりも「必要なものは必要最小限に。無駄なものは改善してほしい」という期待の方が強くなっています。

エコスポーツパーク事業や北彩都の土地利用計画、第2運動公園の整備内容なども、まだまだ市民の意見が残っており、大切な大規模事業だからこそ、その都度再評価し、よりよいものを形創っていくことが必要です。

環境行政について

(要旨)

- (笠木) 廃棄物の第2中間処理施設は、どのような整備内容を考えているか。
- (答弁) 広域処理も視野に入れ、循環型社会に対応するリサイクル中心の施設を考えていく。
- (笠木) 市役所のゴミ集積場を改善すべきだ。
- (答弁) 集積スペースが手狭なこともあり、衛生面も含めて改善していく。

【解説】

ゴミの第2中間処理施設は焼却施設ではなく、生ゴミ堆肥化施設や再生紙設備などを整備することが、循環型社会に向かうなかで大切です。

旭川市もその方向で舵をきり始めました。

ひとりごと

- ☆ 8月10日にニュー北海ホテルで、旭川商業高校の49期同期会がありました。卒業して25年。会社の中堅クラスで頑張っている人、親を亡くしたり孫ができた人も。そういう年頃になったのだなあと、つくづく思いました。しかし、学生時代の「若き気持ち」はいつまでも持ち続けたいものです。
- ☆ 7月30日、東旭川「徳蔵寺」の庭でビールパーティーがあり、顔をだしました。主催は同寺青壮年会の「群生会」。この日は、最後まで残り、柏川法潤住職の描いた絵画や壺をみせていただき、非常にお上手なのに驚きました。
- ☆ 福祉施設「上川更生ハイム」や愛生会病院のお祭りに毎年ご案内を受けおじゃまをしています。盆踊りや花火を一緒に楽しむうちに、施設や病院の皆さんと少しづつ友達ができてきました。
- ☆ 全通旭川郵便局支部退職者組合(山崎貞夫会長)と全通南上川支部退職者組合(滝初雄会長)の総会が7月29日と8月6日にありました。お世話になっている皆さんのお元気な姿にお会いでき、私も勇気づけられました。
- ☆ 「旭川神社」は、小さい時からの思い出多き場所です。このたび芦原巖夫宮司が名誉宮司に、ご長男の芦原高穂さんが新宮司に就任され6月3日に就任祝賀会がありました。先日、芦原名誉宮司から「おごそかな動きの中に清経の悲しみ深く心打たる」との色紙をいただきました。「旭川能」を観能くださったときにうたったそうです。ありがとうございました。



大きなご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。